

医療職のための

在宅緩和ケアの普及に伴い、医療者によるPCAポンプ利用の支援が必要とされます！在宅医療を実践する医師、看護師などの経験者を対象とした研修会となっています。

「在宅医療」スキルアップ®研修会



終末期医療の医療技術向上を目指し、
医師向けの持続皮下注射、皮下点滴の実践的研修を開催します。
(皮下注射、皮下点滴を行う際の工夫や注意点、使用できる薬剤や合併症とその対策など)

参加募集

対象者：医師、看護師

聴講者、実習希望者を抽選で 各 20 名

(※実習希望者は、1名もしくは普段同じ職場で勤務する2名で応募してください。10組程度を募集。)

当日の様子は録画して、動画配信予定です。後日、ご自宅のパソコンやタブレット端末等で視聴することが出来ます。

内 容

開催日時：令和2年9月27日(日) 13:30~14:30

場 所：岐阜県医師会館 6階 大会議室

第1部 講演・「末期がんの方を自宅で看取る

～麻薬注射剤を使用するノウハウ。利用できる資材から算定まで～

講師：木田医院ファミリークリニック 院長 木田 盛夫 先生



第2部 実習・シリンジポンプ

実習に参加されない聴講のみの方は、
会場のプロジェクターで、手元映像を
ご覧いただけます。

シリンジポンプ実技演習

実習では、会場にシリンジポンプ等を準備。実際に
触れて、注入速度や不応期、鍵のセットなどの実習
を行います。★実習プログラムの詳細は裏面。

講師紹介



講師 木田 盛夫 先生

各務原市にて木田医院ファミリークリニックを開業。地域に根差し、家庭医として子供からお年寄りまで診療。在宅での末期がん患者の緩和ケアを実践している。

<略 歴>

- ・県立岐阜高校卒業
- ・山形大学医学部卒業
- ・東海中央病院 緩和ケア内科勤務
- ・木田医院ファミリークリニック 開業

<所属学会認定医・専門医>

- ・日本プライマリケア連合学会 家庭医療専門医
- ・日本内科学会 認定医
- ・日本緩和医療学会 認定

「末期がんの方を自宅で看取る

～麻薬注射剤を使用するノウハウ。利用できる資材から算定まで～」

講師：木田医院ファミリークリニック 院長 木田 盛夫 先生

末期がんの患者さんでは7, 8割の方が癌性疼痛を経験されます。癌性疼痛に対しては内服による疼痛コントロールが基本ですが、一方で多くの方は終末期に経口摂取が困難となります。緩和ケアを受けられている多くの患者さん・家族の望みは延命治療ではなく、痛い、苦しいといった苦痛を最期まで取り除いてほしいという思いです。

オピオイド持続皮下注は、末期がん患者さんがご自宅で最期を迎えるための切り札となるかもしれません。



【プログラム】

1-1:医療用麻薬の導入手順

1-2:投与経路の検討

2-1:薬剤の種類

2-2:薬剤の使い分け方

2-3:濃度・速度・投与時間・投与量の決め方

コラム:迷ったときには…

3-1:デバイスの紹介

3-2:持続皮下注射の注意点

3-3:実際の使用方法(実技)

コラム:算定できる保険点数、デバイスの価格

4-1:導入後のフォロー

4-2:デバイスの変更、薬局との連携

5-1:廃棄方法

医療職のための「在宅医療」スキルアップ研修会

令和2年9月27日(日) 13:30～14:30

申込方法のご案内



専用サイトから申し込む

申込手順①本研修会の専用サイト（以下リンク先）または、QRコードからアクセス。

<https://sites.google.com/view/gifumed-zaitaku200927>

申込手順②専用サイト内にある **申込フォーム** をクリック。

申込手順③氏名等の入力と、A 会場聴講のみ、B 実習希望、C 動画視聴希望を選択。

※A、B をご希望の方から抽選し、後日、受講確定通知のメールが届きます。

※C をご希望の方には、後日、録画動画の視聴方法がメールで届きます。

FAXで申し込む

上記の方法で、申込が出来ない場合はFAX 申込も可能です。以下の参加申込書に、必要事項をご記入の上、岐阜県医師会事務局 FAX058-271-1651 までお申込み下さい。

F A X 用 参 加 申 込 書		
所 属 機 関 名		
所 在 地		
電 話 番 号		
メールアドレス(必須)		
職 種 (いずれかに☑)	氏 名	参加方法 (ご希望を選択☑して下さい)
☐ 医師 ☐ 看護師		☐ 聴講のみ ☐ 実習希望 ☐ 動画視聴
☐ 医師 ☐ 看護師		☐ 聴講のみ ☐ 実習希望 ☐ 動画視聴